

BLDGNEWS

メンテナンス

VOL.249

1月号

平成22年(2010)

愛知

発行・編集 社団法人愛知ビルメンテナンス協会広報イメージアップ委員会／E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp URL(アドレス) http://www.aichi-bma.jp
〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-31 萩町ビル6階 TEL 052-972-1451 FAX 052-972-1452

・今月の視点・

新年明けましておめでとうございます。

日頃ご指導いただいている、関係官庁、関係の団体各位、そして会員の皆様におかれましては、清々しい年をお迎えのこととお喜びを申し上げます。会員各社におかれましては、昨年1年間愛知協会の各種の事業などにご支援、ご尽力をいただきましたこと、誠にありがとうございます。

さて、わたくしたちを取り巻く経済環境は、一昨年来の世界的な景気後退を受け、昨年は内外需の落ち込みが著しく、「百年に一度の危機」といわれる経済不況がつづき、景気後退による雇用問題、物価への影響など社会問題となりました。また、8月末の衆院総選挙による政権の交代が行われるなど激動の年でした。

こうしたことは、皆様もご周知のとおりであります。いずれにしましても、今私たちは非常に厳しい経営環境に晒されています。

その一方で、私たち斯業においては、大きな課題であります「人材の確保」につきましてはやや緩和されている面もあるかなとも思います。「ピンチの後にチャンスあり」とよく言われますが、このように困難な時期でこそ会員の皆様とともに叡智を絞って前進してまいりたいと思います。これには「改良・改善」を超えた「変革」の発想が必要ではないかと思っています。その前提として昨年も申し上げましたが、一つが「価格のみの競争から品質競争」であり、一つは「人材の確保・育成」という課題であると考えます。県内のある中核都市では、入札の資料の中にインスペクションの品質基準をおりこんだ例も出てきております。そして、札幌市の公立病院における入札条件に品質インスペクター的人的要件が加えられました。このことは、単なる一部の出来事なのか、またはこれから新しい潮流の前ぶれなのか気になるところであります。

ところで、一昨年の12月1日に新公益法人法が施行されました。全国ビルメンテナンス協会ではすでに昨年の10月に新公益法人を目指して認定申請が提出されました。

この認定申請に係る当協会における大きなポイントは、全国協会の定款が昨年7月に一部改正され、同認定がなされ、新公益法人として登記されることを前提に「各地協会の会員」は全国協会の会員となります。

つまり愛知協会の正会員の皆様が愛知協会の会員であるとともに、全国協会の会員でもあるということです。そして、各地協会(愛知協会)は全国協会の連携会員となった次第です。

そこで、愛知協会の対応ですが、これまで全国協会に足並みをそろえ新公益法人を目指す方向性をもって会員の皆様にご理解をいただいてきたところでございます。

これを踏まえまして、新法の詳細が示されるとともに前述の全国協会の動向等を注視しながら、昨年の1月に「公益法人制度検討特別委員会」を立ち上げ、これまでに4回の同委員会を開催して、新制度の研究を中心に検討を行ってきました。

今後、この委員会では平成22年度までは検討を終え、当協会としての進む方向が示されることとしています。

そして、その後当協会の総会で皆様にご審議をお願いすることになります。

今年一年間、こうしたことを始めとして多くの課題が山積しておりますが、会員の皆様のご協力なくしては何も解決が出来ません。どうか今年も会員の皆様のご支援、ご尽力を戴きますよう切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のますますのご清栄を衷心からお祈り申し上げます。

新年あいさつ

社団法人愛知ビルメンテナンス協会
会長

勝野 隆



新春を迎えて

愛知県知事
神田 真秋



あけましておめでとうございます。

県民の皆様方には、健やかに新春をお迎えのことと存じます。今年が、皆様方にとりまして、充実した一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、最近の経済状況は、生産活動の回復などから企業収益によく明るい兆しが見られますが、雇用・所得環境は依然として厳しさが続いております。さらには物価の下落や為替相場の急激な変動などの懸念材料もあり、景気は予断を許さない状況にあります。

こうした厳しい状況の中で、新しい年を迎えますが、県民の皆様方とともに、この難局を乗り切り、愛知の未来に向け力強い一步を踏み出してまいりたいと考えております。

昨年は、アメリカ、日本で政権交代が起こるなど世界的に大きな変化を感じさせる年でありました。とりわけ、我が国の政権交代は歴史的なことであり、様々な分野に影響が及んでくると見込まれますが、こと県政運営にあたっては、県民の皆様方の目線でしっかりと舵取りを行ってまいります。

このため、まず当面は、雇用対策や中小企業の経営支援など地域経済を下支えするとともに、地域医療の充実や子育て・子育ち環境の整備、交通安全対策など県民の皆様方の日々の安心、安全の確保に力を注いでまいります。

その上で、中長期を展望した愛知の発展に向け、航空宇宙産業などの次世代産業の育成、将来の飛躍の基盤となる社会資本の整備、来るべき低炭素社会に向けた取組などを積極的に進めてまいります。

また、いよいよこの夏から秋にかけて、地域を挙げて準備を進めてきた二つの大きな事業、環境分野における最大級の国際会議であるCOP10と国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2010」が開催されます。ぜひともこれらを成功させ、愛知の総合力をさらに高めてまいりたいと考えております。

新しい年も、引き続き本県財政は厳しい状況が続きます。徹底した行財政改革を進めることはもちろんありますが、大きな時代転換の本質を見極め、現下の危機の克服と将来にわたる愛知の発展に全力で取り組んでまいる所存であります。

県民の皆様方の格別のご理解、ご協力を願い申し上げます。

平成二十二年元旦

年頭所感

名古屋市長
河村 たかし



歴史に残る街ナゴヤ

新年あけましておめでとうございます。

社団法人愛知ビルメンテナンス協会の皆様におかれましては、日頃から建築物の衛生管理業務を通じて、公衆衛生の向上にご尽力をいただいておりますことに深く感謝いたします。

また、市民の皆さまには、昨今の厳しい経済情勢の中、納税していただきまして、誠にありがとうございます。市民の皆さまには大変感謝しております。本年もパブリックサーバントの精神を職員一同肝に銘じて職務に精励してまいります。

さて、名古屋市ではいよいよ市民税10%減税と地域委員会制度を実施する予定です。減税によって人と企業が集まり、日本一早く景気回復を果たすとともに、地域委員会によって地域のことを地域住民が決める新たな住民自治の仕組みを作っております。

歴史を紐解きますと、名古屋は名古屋城築城と清須越に始まるまちづくりから四百年、さらに熱田神宮は千九百年の歴史を有しています。その意味では、名古屋は最も歴史のある大都市と言えるでしょう。

その歴史ある名古屋の街で、戦災復興の計画に代わる新しいまちづくりの計画を策定していく予定です。歴史の息吹を感じる街、水と空気のおいしい冷暖房がいらない街、そして街角などに音楽の溢れる楽しい街にしていきたいと思っております。

本年もどえりやあご支援をお願いいたします。

平成二十二年元旦



新春のご挨拶

愛知労働局長
中 沖 剛

明けましておめでとうございます。謹んで
新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、旧年中、愛知労働局の行政運営に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げますとともに、本年も、引き続き円滑な行政運営に向けて、一層のご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年における本県の経済は、一昨年秋以降の世界的経済悪化に伴い、自動車産業など製造業を中心に期間従業員や派遣労働者の解雇・雇い止めが相次ぎ、離職者が増加して雇用不安も生まれ、非常に厳しい状況となりました。

雇用情勢については、平成20年1月以来悪化の一途を辿っていた有効求人倍率が、昨年8月、19ヶ月ぶりに上向き傾向となり、9月には、5ヶ月ぶりに0.5倍台に回復したものの、経済情勢の先行きの不透明さとあいまって予断を許さない状況が続いております。

また、突然の解雇や賃金未払いなどの様々な労使間のトラブル、過重労働による健康障害に関する相談等が依然として高水準で推移し、労働者を巻き込む環境も厳しい状況にあります。

このような中、すべての労働者が適法な労働条件の下で安心して安全かつ健康に働くことができる労働環境を確保するとともに、雇用の確保・維持を図り、子育てをしながら働く方、高齢の方、若年者の方など、より多くの人たちが多様な働き方を選択し、能力が発揮できる環境の整備を図ることが必要となっております。

そこで、労働基準行政においては、解雇、賃金不払事案等に対して的確な対応を図り、厳しい経済情勢下において大きな問題となっている派遣労働者等非正規型労働者の法定労働条件の履行確保を図ってまいります。

現下の厳しい経済環境下においても安全衛生水準が低下するところがないよう、安全衛生水準の維持・向上に向けた啓発を行ってまいります。死亡災害・重大災害の撲滅のため、製造業・建設業・陸上貨物運送事業等の死亡災害多発業種を重点対象とし対策を図ります。さらに、労働災害全体を一層減少させるため、リスクアセスメントの普及促進を図る等自主的な安全衛生管理活動の促進を進めてまいります。

また、心身両面にわたる健康確保のための過重労働防止等労働時間管理の適正化、最低賃金制度の周知及び、本年4月1日に施行される改正労働基準法の周知徹底に尽力してまいります。

職業安定行政、需給調整事業行政、雇用均等行政におきましても、それぞれ、非正規労働者を始め、女性・高齢者・障害者支援等の雇用対策、雇用情勢をふまえた職業相談、職業紹介、雇用情報の提供等の強化、労働者派遣事業と請負の区分の明確化に重点を置いた労働者派遣事業の適正な運営の確保、製造業の請負事業に係る雇用管理の改善及び適正化、男女雇用機会均等法、改正パート労働法及び、育児・介護休業法の周知徹底、次世代育成支援対策の推進等の職業生活と家庭生活の両立支援等、セーフティネットとしての機能充実に尽力してまいります。

本年多くの課題を抱えておりますが、当局は、急激な社会経済情勢の変化に対し、迅速かつ的確な対応を図りつつ、国民の信頼を得て、「ありがとう」と言われる行政を目指すとともに、地域の実情を踏まえた総合的な労働行政の推進に努めてまいる所存であります。

最後に、皆様のご多幸とご健勝を心より祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年を迎えて

愛知県健康福祉部
健康担当局長

五十里 明

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろから、建築物衛生をはじめとした本県の健康福祉行政の推進に、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年4月にメキシコで確認されて以来、世界的に流行しております新型インフルエンザ対策といたしまして、本県では保健所等に「新型インフルエンザ相談窓口」や「発熱相談センター」を設置し、県民の皆様の相談に応じてまいりました。さらに、昨年10月には、新たに「新型インフルエンザ対策室」を設置して体制を強化し、迅速かつ適確な感染防止対策の推進に努めております。

現代はビル内で長時間過ごす人々も非常に多く、建築物の衛生的な環境の確保は、インフルエンザ等の感染防止対策においても、非常に重要であります。貴協会の皆様方におかれましては、ビルメンテナンス事業を通じ感染拡大防止のため、種々御協力をいただいているところですが、新型インフルエンザに加え、季節性インフルエンザの流行も心配されますので、今後とも一層の御協力をお願い申し上げます。

また、近年、人の健康や環境への県民の関心はますます高まっており、建築物においても人や環境に優しい維持管理が求められております。本県といたしましては、平成20年に「県有施設における農薬・殺虫剤等薬剤適正使用ガイドライン」を策定し、農薬・殺虫剤等薬剤の適正使用を徹底し、施設利用者や周辺住民等に健康被害が生じないよう配慮する取り組みを県が率先して推進しているところでございます。貴協会の皆様方におかれましても、今後とも安心・安全を心がけて建築物の維持管理に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

本県といたしましては、今年も県民の皆様の安心・安全のため、課題の一つ一つに対し着実に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様の一層の御理解と御協力を心からお願い申し上げます。

皆様方にとりまして、本年も素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



平成二十二年元旦

新年のご挨拶

愛知県警察本部 生活安全部長
田中 正和

平成22年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

愛知ビルメンテナンス協会及び会員各位の皆様には、旧年中は、日々の警備業務を通じまして、犯罪や事故の未然防止に取り組んでいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

さて、愛知県の犯罪発生状況をみると、全国の刑法犯認知件数は、戦後最高を記録した平成14年をピークとして徐々に減少を続けている中で、本県は平成20年に増加に転じ、昨年(11月末)も前年同期に比較して2,776件2.1%の増加となっており、当県の治安情勢はいまだ厳しい状況にあります。今後、日本経済の景気状況の流れによっては、治安を取り巻く諸情勢にどこまでマイナス影響を及ぼすのか、非常に懸念されるところであります。

本年もそのような厳しい状況が続く中で、安全、安心を求める県民の期待はますます高まるものと思われます。警察といたしましては、県民の信頼に応えるため、「安心」して暮らせる「安全」な愛知の確立を目指し、総力を挙げて犯罪抑止対策、振り込め詐欺対策などの各種施策を強力に取り組んでまいり所存であります。

愛知県内における警備業界の実態は、業者数は約690、32,000人を超える警備員の方々を擁し、警備業務の内容も、施設警備業務をはじめ幅広い分野にその業務が及んでおり、警備業は県民の自主防犯活動を補完・代行する生活安全産業として極めて重要な役割を担っているところであります。今や警備業は地域安全に欠くことの出来ない存在となっております。

その社会の要請・信頼に応えるためにも、警備業は今まで以上に質の高いサービスの提供が求められているところであり、それを支える警備員の資質及び能力の向上を図る「警備員教育」に真剣に取り組んでいただくと共に「警備業務の適正化」にこれまで以上に業界を挙げてご尽力いただき、警備業界が更なる健全な発展を遂げることを期待するところであります。

協会の皆様におかれましては、県内の厳しい治安情勢をご理解いただき、本年も引き続き治安回復のためにお力添えいただきますようお願い申し上げます。

最後に、貴業界のますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成二十二年元旦



年頭のご挨拶

名古屋市消防長
小西 富夫

新年あけましておめでとうございます。

愛知ビルメンテナンス協会員の皆様には、健やかに平成22年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には、日頃から防火・防災にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、大型ショッピングセンターや複合用途の高層建築物など大規模・高層化された建築物が急増しており、東海地震などの大規模地震が発生した際に、このような大規模な建築物において生じる被害を最小限にとどめるため、昨年6月に「大規模地震等に対応した自衛消防力の確保」に係る消防法の一部改正が行われました。

昨年8月11日に発生した「駿河湾を震源とする地震」においては、東海地震観測情報が発表されるなど、あらためて東海地震・東南海・南海地震に対する備えの重要性が認識されたところです。

協会員の皆様におかれましては、自衛消防組織の編成や自衛消防業務講習の受講など多様な業務に取り組んでいただいております。本市といたしましても、皆様と力を合わせてこの新しい業務に取り組んでまいります。

また、災害に強いまちづくりのためには、「市民、地域、企業及び行政が一体となった防災協働社会」を構築し、地域防災力を向上させることが喫緊の課題となっています。

このような背景のもと、災害時における事業所敷地や保有資器材の提供など、地域と事業所との支援協力に関する覚書の締結を平成12年度から推進してまいりましたが、一昨年から「地域防災協力事業所表示制度」を創設し、地域と事業所との支援協力体制づくりの一層の推進を図っているところです。

一方、住宅火災による焼死事故対策の一環として、住宅用火災警報器の設置により、火災に至らなかったという奏功事例が多數報告されており、今後もより一層の普及啓発活動を実施してまいりますので、皆様のご協力ををお願い致します。

安心・安全なまちづくりのためには、日々、防火・防災業務にご尽力いただいている皆様のお力は益々必要不可欠となっております。

本年も消防行政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会及び貴会員各位の益々のご発展、ご活躍をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



謹んで新春の
お慶びを申し上げます。

本年もよろしくお願いします。



副会長 水藤 維人



副会長 今村 孝治



副会長 加藤 憲司



理事 田中 宏



理事 吉田 治伸



理事 本多 清治



理事 山本 幸男



理事 本多 悟



理事 上道 廣巳



理事 堀口 弘



監事 野牧 重光



監事 加藤 義幸



監事 深尾 公亮



相談役 武村 節雄



相談役 吉田 銑三



冬期研修会

平成21年12月4日(金)アイリス愛知で冬期研修会が行われました。

研修会では、講師に元日本ラグビー代表であり、(株)神鋼ヒューマン・クリエイト研修部研修教材室長コンサルタントの林 敏之氏を迎え、「ラグビーに学ぶ感即動」をテーマに約1時間30分の講演がありました。

林氏は、ラグビーで高校時代から数々の代表、大学では日本人代表のフォワードとして活躍、白いヘッドキャップ、口ひげをトレードマークに強烈なタックルや突進で「壊し屋」の異名をとりました。日本代表を13年間、代表キャップ38。神戸製鋼の7年連続日本一に貢献されました。

36歳の引退まで、その勇姿は多くのラグビーファンの胸を打ちました。

1989年に山ごもり訓練を体験され、行動科学、禅、東洋哲学に目覚められ、心の触れ合いを大切にした感性開発の道を求めて活躍中です。

こうした経験をもとに『感動こそが人を変え、人は自ら感じた時に動く、人は深く感動したときに、はじめて行動が変わっていく。』すなわち、『感じさせれば、人は動く、感じさせなければ、人は動かない。理性で説得しても、人は動かない。人を感動させる力を持つことが、感動させる人間となる。』(これを先生は「感即動」と言われた。)

このことについてDVDの映像などを交え熱心にお話され、人との出会いを最も大切に人の『力は、使命の感(最も奥深い意味、最高の価値を感じた時)より発する。』と講演を結ばれました。

その後の忘年懇親会では、本多総務厚生委員長の開会のことば、勝野会長のあいさつの後、ご来賓の筒井タカヤ県議会議員の祝辞、松本定道愛知県警備業協会会长の乾杯の音頭で開宴となりました。

恒例となりましたビンゴゲームでは、今年も趣向を凝らした賞品がたくさん用意され、大いに盛り上がりました。

最後に出本厚生副委員長の閉会のあいさつで終了しました。



安全衛生パトロール実施結果について

労働安全衛生委員会

実施期間 平成21年11月16日(月)～11月26日(木)延べ5日間
実施事業所 会員が業務を行っている事業所のうち清掃管理業務7事業所、設備管理業務3事業所を選定し、実施した。
パトロール員 延べ10名(労働安全衛生委員)

実施方法 2名1組で各事業所を訪問し、あらかじめ示した清掃管理業務21項目、設備管理業務17項目について、聞き取り・現地確認を行い、5段階評価をした。

【実施結果】

清掃管理業務

7事業所のうち全て「5」の評価を得た事業所が1、21の項目中1つが「4」で残りの全てが「5」の評価を得た事業所が1、「4と5」の評価を得た事業所3、「2(1事業所)、3、4、5」の評価があった事業所が2であった。

1事業所において「機械、器具の整備記録が記入されているか」の項目で「2」の評価があった。

(パトロール員の評)

- ・控室は清潔、服装、マナーも良く、業務日誌等の業務文書がわかりやすく整理されている。
- ・また、資機在庫も使用期限が順守され、環境にも配慮し、洗剤の利用は極力抑制、アルカリイオン電解水をフルに活用している。
- ・事故原因になりやすい脚立作業の排除、業務上の火気や危険物の取り扱いに注意し、従業員の安全管理がなされている。
- ・従業員は規律正しく、ユニフォームも清潔で、控室、資材倉庫も整理整頓され、清掃道具もよく管理されている。

また、緊急時の対応マニュアルもしっかりと整備されており、安全等についての従業員研修も2ヶ月に1回実施。業務担当者は品質面や従業員とのコミュニケーションも図られている。

- ・労働安全は、社内での自主パトロールやISOの内部監査もあり書類等はよく管理されている。高所作業は現場従業員ではなく、本社からの専門者が行っている。
- ・早朝にひったくり被害もあり、通勤経路はなるべく人通りの多い方面からとしている。
- ・責任者が、毎月1回安全衛生会議に出席し、現場に伝達。KYT活動を毎月1回実施、ヒヤリ・ハット事例の報告などもされている。

また、作業上の安全対策として、回収ゴミに危険な物もあることから従業員は革手袋をはめる。預かった鍵は必ずワイヤーをつけ紛失防止対策を実施している。

設備管理業務

3事業所全てにおいて「5」の評価を得た。

(パトロール員の評)

- ・控室が警備員用と同室でやや手狭であった。
- ・業務要領、各種手順書や計画書などはパソコンで運用されている。

また、地下3階に新旧のボイラー、設備等が混在しているものの、スペースに余裕があり、「高圧電流、火気、高速回転」などの危険箇所はなく、要所にトラテープを貼り、転倒や衝突を避ける配慮がなされている。

なお、諸設備もコンパクトになり、コンピューター管理が一般化してきたが、現物の保守管理から遠ざかると、停電や災害など緊急事態が起きた時の労災の発生が懸念されます。(通電中に電流露出部に触れてしまう。点検中にスイッチオンをしてしまう。等)緊急事態を想定した訓練の必要性を感じました。

- ・貯水槽の清掃作業で、夏場は、蒸し風呂状態での、防脱水症状のための十分な水分補給。冬場は、手のかじみや梯子の凍結・腐食などによる落下防止を指導している。
- ・朝のミーティングでのKYの実施。高所作業は脚立を使用するが、二人作業で行う。

機械室に入る時は、ポケットに余分なものを入れないよう指導している。

こども絵画コンクール愛知協会表彰

(社)全国ビルメンテナンス協会等の主催の「第3回こども絵画コンクール」に当協会として協賛・応援し、その応募作品のうち愛知地区からの応募作品を表彰し、当地区のこどもたちが豊かな感性と想像力を一層育むよう助長しようと、本年度「愛知協会表彰」を実施しました。

同コンクールは全国から8,166点の応募があり、大臣賞をはじめ上位入賞作品(愛知地区からは、金賞に岡崎市立常盤小学校5年の佐々木陽向君が入賞)は、昨年10月、京都市で開催された「ビルメンヒューマンフェア'09京都」において表彰・展示された。

愛知県内からは214点の応募があり、12月11日(金)に審査会を行い、当協会として、会長賞をはじめ21点の入選作品と前述の全国協会上位入賞者4点を特別賞として選出しました。

入賞された皆さんには、それぞれ賞状と賞品が贈られました。

愛知協会の入賞者は、次の皆さんです。

会長賞 名古屋市立星ヶ丘小学校 2年 池井戸大湧君
金 賞 岡崎市立北野小学校 1年 横山春那さん

6年 中神 舞さん
銀 賞 愛知県立千種聾学校 4年 田中美帆さん
岡崎市立北野小学校 1年 永田結夢さん

4年 平野里奈さん
銅 賞 コニックス(株) 3年 前田美咲さん
岡崎市立北野小学校 1年 土橋愛理さん
同 1年 市川奈津希さん
(資)明清社 5才 伏見凪穂さん

4年 伊豫田千里さん
佳 作 岡崎市立北野小学校 1年 熊谷愛理さんはじめ
10名の皆さん

特別賞 岡崎市立常盤小学校 5年 佐々木陽向君
同 5年 鈴木寛人君
愛知県立千種聾学校 1年 山口詩織さん
岡崎市立北野小学校 2年 三原誉也君

会長賞



▲池井戸大湧君の作品

金賞



▲横山春那さんの作品



▲中神 舞さんの作品

銀賞



▲田中美帆さんの作品



▲永田結夢さんの作品



▲平野里奈さんの作品

理事会・各種委員会等

第6回 理事会

開催日時 平成21年12月4日(金)14時45分～

開催場所 アイリス愛知2階「サフラン2」

出席者 勝野会長始め12名の出席を得て勝野会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項

- ・冬期研修会・忘年懇親会の計画概要について
- ・第3回こども絵画コンクール愛知協会表彰について
- ・全国協会の障がい者就労支援専門委員会への委員の推薦について
- ・当面の諸問題について・委員会報告・全協報告
中部北陸地区本部報告

第7回 広報・イメージアップ委員会

開催日時 平成21年12月18日(金)10時～

開催場所 協会事務局会議室

- ・1月号の構成について検討を行った。
- ・こども絵画コンクール愛知協会表彰について

第1回 労働安全衛生委員会

開催日時 平成21年12月22日(火)15時～

開催場所 協会事務局会議室

- ・平成21年度労働衛生安全大会の運営等について
- ・労働安全衛生に関する応募作品の審査等について

平成21年度 愛知県警備業協会ビルメン支部総会

開催日時 平成21年12月15日(火)13時30分～

開催場所 東京第一ホテル錦3階「ドルチェ」

- ・平成22・23年度役員選出について
- ・「災害支援協定に基づく出動要請伝達訓練」について
- ・支部研修会の開催について

平成21年度こども絵画コンクール愛知協会表彰審査会

開催日時 平成21年12月11日(金)10時～

開催場所 協会事務局会議室

- ・(社)全国ビルメンテナンス協会が実施した「ビルメンこども絵画コンクール」へ当協会として協賛し、その応募作品のうち愛知地区からの作品を表彰するため、勝野会長、加藤副会長、吉田広報、イメージアップ委員長、脇田同副委員長、澤田委員の各審査委員による審査会を実施した。
- ・総数209点の作品の中から、予備審査を経て、会長賞を始め21点を選出した。

会員の動き

1月1日現在会員数 普通会員 132社 賛助会員 20社

普通会員

年月	会員名	異動(変更)事項	異動 内容
21.11	日東カストディアル・サービス(株) 名古屋支店	代表者	旧 代表取締役 小西 章夫 新 代表取締役社長 小西 章夫

我社の社会貢献事業

株式会社メンテック 第一営業部 湯浅 直人

当社は豊田市駅前を拠点にビルメンテナンス業を営み、今年で創業20年を迎える会社です。

私たちの考える社会貢献とは、地域活性化への積極的参加です。豊田市には **WE LOVE とよた** を合言葉に「とよた元気プロジェクト」を通して地元産業を盛上げ、活気に満ちた元気な豊田を築いていこうという活動があります。そのシンボルイベントである豊田おいでんまつりをはじめ、多くのイベントに積極的に参加させていただいている。その中のひとつとして、「SEGWAY」という近未来の乗り物?の試乗会を行っています。その為に社員の中から6名程がインストラクターの資格を取得しました。トヨタスタジアム等において何度も行っておりますが、参加者の皆様から好評をいただいております。

環境保全活動についても、まちなかクリーンアップ事業などに積極的に参加し、毎月第一土曜日には駅前企業の有志と共に

豊田市駅、
新豊田駅前、
バス停、タク
シー乗り場
などを重点
的に清掃活
動を行って
います。

また、食品
廃棄物リサ
イクル事業

への取組みを始め、その先につながる農業への参画など、従業員も夢のもてる事業を展開し、微力ながらここ豊田市からより良い地域づくりの一助となれるよう社員一同、日々努力してお



平成22年2月の予定

如月

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
1	月		17	水	労働保険収支改善対策会議] (岐阜) 第3回中部北陸地区本部会議]
2	火		18	木	
3	水		19	金	
4	木	第24回建築物環境衛生管理研究集会(名古屋市教育センター)	20	土	
5	金		21	日	
6	土		22	月	
7	日	平成21年度ビルクリーニング技能検定(学科)試験(ウインクあいち)	23	火	清掃作業従事者研修指導者(再)講習会(ウインクあいち)
8	月		24	水	貯水そう清掃作業監督者再講習会(港湾会館)
9	火		25	木	
10	水		26	金	
11	木	建国記念の日	27	土	
12	金		28	日	
13	土				
14	日				
15	月				
16	火				

賛助会コーナー

ドライ現場用ワックス新登場!

ドライメンテナンスに携わる定期管理者/日常管理者
それぞれのニーズを追求したラインナップ



スプリントグロス

コンセプト

「最大限の光沢&作業効率」
定期管理者の求める性能を
集結したドライ用ワックス

推薦ユーザー

定期管理者にワックスの
選択権がある施設



スプリントタフ/ スプリントベース

コンセプト

「最小限のダメージ&最大限のバフ効果」
日常管理者の求める性能を集結した
ドライ用ワックス

推薦ユーザー

日常管理者にワックスの選択権が
ある施設

ジョンソンディバーシ株式会社
名古屋営業所

T460-0007 名古屋市中区新栄2-4-3 明倫ビル8階
TEL:052-259-7632 FAX:052-259-7639

事務局だより

皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年も昨年同様どうぞよろしくお願い申し
上げます。

昨年は、百年に一度の経済危機の年越
しに始まり、厳しい金融、雇用情勢が続き、
私たちの業界を取り巻く環境也非常に厳し
い年でした。こうした中で8月の衆院選挙
後には、政権交代があるなどまさに激動の一
年でした。

ところで今年は寅年ですね。この干支の
由来は縁起話として、虎は毛皮の美しい模
様から前身は夜空に輝く星と考えられました。
この特徴は「決断力と才知」だそうです。

この特徴を活かして、今年こそよい年にし
たいものですね。